



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2022年6月30日

西理事長を再任、専務理事に赤坂理事が新任 第55回通常総会・第2回理事会

2022年度の事業計画や役員改選議案などを審議する第55回通常総会が5月30日(月)、ホテル青森で開かれた。同総会には、組合員127名(本人出席47名、委任状出席80名)が出席した。総会では西理事長が議長に選任され、2022年度事業計画や収支予算案等が原案どおり承認された。また、任期

満了に伴う役員改選では、(株)角弘の船越社長が新理事として選任され、17年間専務理事を務めた藤本専務理事は退任。その他の役員は重任となった。また、同日に開かれた第2回理事会では新三役を選任する組織会を行い、西理事長、柳谷副理事長、佐治副理事長、赤坂理事・専務局長が専務理事に新たに選任



懇親会で挨拶する赤坂専務理事(中央)と藤本相談役(左)



第55回通常総会

された。また、前専務理事の藤本氏は理事長相談役に就任した。総会終了後には3年振りとなる懇親会が開催された。感染防止対策として全席指定で行われた懇親会では、専務理事を退任した藤本相談役と新たに就任した赤坂専務理事がそれぞれ挨拶した。また、来賓を代表して、三村青森県知事(県商工労働部三浦部長代読)、小野寺青森市長、日本銀行青森支店の森本支店長から祝辞が寄せられた。その後、乾杯の音頭で祝宴に入った。祝宴では名刺交換会の時間が30分ほど設けられ、マスク着用とお酌禁止を徹底して参加者同士交流を楽しんだ。

同支店では、開設30周年を記念してくじ引きによる来店記念品をプレゼント。また、支店開設当時の懐かしい写真などが掲示された写真展も開催。店内BGMとして30年前に流行した歌謡曲を流すなど、来店客を楽しませた。同店では「この30周年を契機として、地域の皆様のお役に立つ銀行を目指し、なお一層の努力を重ねていきたい」と決意を新たにしている。

みちのく銀行問屋町支店 開設30周年

みちのく銀行問屋町支店が6月8日(水)に開設30周年を迎えた。1992年に開設された同店により、地元地方銀行2行が問屋町に揃い、組合員の利便性が更に向上した。



店内では現スタッフを写真で紹介



みちのく銀行問屋町支店



感染症対策をして名刺交換会

- 【新役員・敬称省略】
- ▽理事長 西秀記(株西衛器製作所)
- ▽副理事長 柳谷章二(株マツダアンフイニ青森)・佐治隆雄(株プリモ)
- ▽専務理事 赤坂晃(協青森総合卸センター※新任)
- ▽理事 雪田清紀(株東晴)・工藤正博(株KGAンサンブル)・佐々木聡(青森三菱自動車販売(株))・江渡文隆(江渡商事(株))・石田憲久(株青森新生活互助会)・木村英敬(三協運輸(株))・大平幹夫(株大平教材社)・鷲尾晴実(株技研)・船越秀彦(株角弘※新任)
- ▽監事 太田雄三(株伸和産業)・和田祥平(和田ゴム販売(株))

第1回集団健康診断

組合では、今年度1回目となる集団健康診断を実施した。6月7日(火)から9日(木)の3日間、問屋町会館2階大会議室で行われた同健康診断には、組合員をはじめ近隣企業から205名が受診した。

当健康診断では、一般健康診断のほか、採血による腫瘍マーカー検査、脳梗塞や心筋梗塞のリスク検査もオプションで追加できる。その他、全国健康保険協会(協会けんぽ)加入者向けの健康診断も受診可能となっており、胃部レン



第1回集団健康診断

トゲン検査などが含まれ、健診費用の一部助成も受けられる。

組合では、7月から10月まで各月、問屋町会館2階で健康診断を開催する。健康づくりの第一歩として、ぜひ利用いただきたい。

無料相談コーナーに 新メニュー追加

組合で実施している「専門家による無料相談コーナー」に新たなメニューが追加された。これまでの弁理士、社会保険労務士、司法書士、保健

師、造園デザイナーに加え、「弁理士」がラインナップに加わった。

弁理士とは知的財産に関する専門家で、特許や意匠、商標、著作権、ブランド戦略等の相談に応じる。INPIIT 青森県知財総合支援窓口が受付窓口となる。

相談コーナーでは相談日を

特定せず、組合員からの依頼があった都度、専門家と相談のうえ日程を調整して開催。

1社月1回、相談時間は30分程度までであれば相談費用は無料。ただし、別途依頼した個別指導や登記手続などの事務代行手続きは有料となる。

これまでの相談事例は「就業規則の改定」や「助成金の申請」、「業務委託契約」についてなど。相談料金無料のため気軽に利用できるとあって、好評を得ている。

同コーナーに関するお申し込みやお問い合わせは、卸センター事務局(☎7384711 担当・成田)まで。

リサイクル事業収益金を 福祉団体等に寄贈

組合では、2021年度のリサイクル回収事業で得た収益金を福祉団体等へ寄贈した。この活動は今回で8年目となる。

5月20日(金)には、青森市社会福祉協議会に10万円を寄付。組合の西理事長から同協議会の窪田会長に目録を手渡した。

例年、組合員等から個別回収した空き缶・ペットボトルによる収益金を寄付しているが、今年度は組合創立55周年を迎えることから、組合事業

収益も合わせて増額して贈った。

6月10日(金)には、パソコンリサイクル回収事業の収益金3万円を障がい者施設に寄付した。同施設では組合員から回収したパソコンの解体作業を担当している。



空き缶等リサイクル収益金寄付

雪による建物の被害多発

昨冬の青森市は9年ぶりに積雪140cmを超える記録的な大雪に見舞われ、雪による被害が組合員施設において数多く発生している。

被害の多くは屋根からの落雪による外壁や窓の破損。また、降り積もった雪の重さにより下敷きとなった施設が損傷、大量の雪庇による屋根の損傷なども報告された。

雪災事故の多くは「火災保険」での対応が可能となるので、雪が解けたこの時期に建物に損害等が無いか今一度ご確認いただきたい。ただし、

確認いただきたい。ただし、



屋根からの落雪で窓破損



雪の重みで屋上配管損傷

一部の保険会社を除いて損害額が20万円を超えた場合のみ保険対応可能となるので注意が必要である。

また、建物の屋根からの落雪を原因とする賠償責任事故も発生している。このように、落雪等により第三者へ損害を



大平委員長(右)が施設を見学

当日は大平環境対策委員長が施設を訪問し、作業の様子などを見学。その後、施設職員に寄付金を手渡した。SDGsを推進する組合では、SDGs達成に寄与するリサイクル回収事業及び寄付活動を継続していく。

業務用食材専門卸

株式会社 小田川

本社 青森市第二問屋町三丁目8番36号
TEL (017) 739-5465 FAX (017) 739-9058

コロナ対策には換気が一番

どんな窓にでも網戸は取付可能

株式会社KGアンサンプル

〒030-0131 青森市問屋町1丁目5番11号

《 共同倉庫 D-9 》

お問合わせは 0120 - 579 - 910 まで

問屋町交流ストア
「青森市プレミアム付商品券」
の取扱いについて

【販売期間】

2022年6月1日(水)から
2022年7月31日(日)まで

営業時間 9時～15時

定休日 土、日、祝日

【販売額】

1セット10,000円

(1万5千円分の買い物可能)
※ご購入の際は、「購入引換券」および身分証を必ずお持ちください

【商品券利用期間】

2022年6月1日(水)から
2022年8月31日(水)まで

※商品券では、回数券、印紙、プリペイドカードなど購入できない商品もございます
※商品券のみによる購入の際は釣り銭は支払われません

【お問合せ】

問屋町交流ストア
TEL 728-9101

業務報告

…主要事項…

- | | | |
|----|----------------------|-------------------------|
| 5月 | 7日▽新型コロナウイルス感染症 域接種 | 20日▽空き缶等リサイクル回収 収益金寄付 |
| | 8日▽新型コロナウイルス感染症 域接種 | 26日▽青森問屋町経営同友会 第2回役員会 |
| | 10日▽安協問屋町支部第1回 役員会 | 30日▽第55回通常総会 |
| | 11日▽新型コロナウイルス感染症 域接種 | ▽青森卸センター(株)第53 回定時株主総会 |
| | 12日▽第2回問屋町合同清掃 | |
| | 14日▽新型コロナウイルス感染症 域接種 | |
| | 15日▽新型コロナウイルス感染症 域接種 | |
| | 16日▽金融審査会 | |
| | 18日▽新型コロナウイルス感染症 域接種 | |
| | | 25日▽営業初心者戦力化セミナー(名刺交換編) |
| | | 26日▽経営相談会(第9期) |

問屋町
ビジネススクール

経済雑感
第二七回
青森県立保健大学 看護学科
准教授 千葉 敦子

【WEは生産性向上に有効】
前号に引き続き、青森県立保健大学の千葉准教授による「経済雑感」をお送りする。前回は、卸センター組合員は全国に比べて「仕事の資源(事業場レベル)」、「従業員(ワーク・エンゲイジメント)」、「職場の一体感(SCソーシャルキャピタル)」の得点が高いことから、職場環境が良好でいきいきと働いている可能性があるとお伝えしました。今回は、WEについてご紹介し、その影響要因について考えてみます。



青森県立保健大学 准教授 千葉 敦子 氏

WEは、ユトレヒト大学のSchaufeli教授によって提唱された概念であり、「従業員の仕事に対するポジティブで充実した心理状態」を意味します。疲弊し仕事への熱意が低下したバーンアウト(燃え尽き)とは反対の状態です。WEが高い従業員は、活力にあふれ、仕事に誇りとやりがいを感じ、熱心に取り組むという特徴を持ちます。そのため、近年は「人手不足」や「働きがい」の観点から経営者が注目するようになりました。これまでの研究では、WEを高めることは職務満足感を高め、離職率の低下につながることで、仕事へのモチベーションや生産性を高めること、心理的苦痛を軽減

5月 7日▽新型コロナウイルス感染症 域接種
8日▽新型コロナウイルス感染症 域接種
10日▽安協問屋町支部第1回 役員会
11日▽新型コロナウイルス感染症 域接種
12日▽第2回問屋町合同清掃
14日▽新型コロナウイルス感染症 域接種
15日▽新型コロナウイルス感染症 域接種
16日▽金融審査会
18日▽新型コロナウイルス感染症 域接種

20日▽空き缶等リサイクル回収 収益金寄付
26日▽青森問屋町経営同友会 第2回役員会
30日▽第55回通常総会
▽青森卸センター(株)第53 回定時株主総会

25日▽営業初心者戦力化セミナー(名刺交換編)
26日▽経営相談会(第9期)

私は、本研究を通じていくつかの企業の経営者や担当者の方とお会いしました。その中で、卸センターの存在が影響の1因ではないかと考えました。卸センターでは健康増進対策をはじめとした様々な事業を組合員に提供しています。これらの取り組みを通じて、地域に根ざした人とのつながりや顔の見える関係性が育まれ、それが信頼関係につながり、WEを高めているのではないかと推察しました。この検証はもう少し時間をかけて行ってみたいと思います。機会がありましたらまたお伝えさせていただきます。

(元)

ボルト/建設資材/工 具/工作機械

株式会社 ブンメー

青森営業所 〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目10-18
Tel.(017) 738-6111(代) Fax.(017) 738-3513

■栄養補助食品 製造(OEM受託) 販売(通信販売、卸販売)
■化粧品卸販売 ■農業資材、環境改善機器等の卸販売

ミリオン株式会社 営業時間 平日:月~金曜 AM9:00~PM6:00
定休日 土・日・曜・祝日

〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-6 0120-404-303
TEL 017-763-0880 FAX 017-763-0881

ミリオン健康ランド <http://www.t-mirion.co.jp/>

お気軽にご相談ください。 オリジナルサプリメント製品をデザイン設計から製造まで一貫して行います。試作・小ロット・大口まで対応。

Total assist 東京海上日動の自動車保険

あなたの大切なドライブのそばに。

東京海上日動 青森中央支社 To Be a Good Company
青森市長島2-19-1 青森東京海上日動ビル2階 〒030-0861
お問い合わせ先(TEL):017-775-2424

「ホテル青森」 人生の節目を見届げる場所

思い出を刻む 喜びをわかちあう 食を愉しむ 旅の疲れを癒やす

様々なシーンで お客様の記憶に残る 最高のおもてなしで お迎えます。

ご予約・お問い合わせ ホテル青森予約センター/10:00-17:00 017-775-4007
〒030-0812 青森市堤町1-1-23 <https://www.hotelaomori.co.jp>

